

美人画の魅力を解説する白井喜三郎さん＝豊橋市大江町で



五十年にわたり美人画を描く元豊橋大職員白井喜三郎さん
 き続けている豊川市御油町の「六」の作品展が、豊橋市大山

絵筆50年豊川の白井さん

病院で美人画展

豊橋

「彼女と違って仕上げ」来院者も「安らく」

町の循環器専門病院「豊橋ハ
 ートセンター」一階ギャラリー
 一で開かれている。入場無料
 で六月三十日まで。日曜祝日
 は休館。

和服姿の女性を描いた作品
 など約十五点の水彩画を出品
 した。「美人を見ると唇返り
 ます」と大正生まれの白井さ
 ん。鑑賞のために折った鶴を
 手のひらで遊ばせながら、満
 足をうに夢想にふける女性は
 「自分の彼女だと思って仕上
 げた」と笑う。

上目遣いにして、着物の
 襟元や袖口からじゅぼんな
 どをのぞかせたりと工夫し
 て、魅惑的な雰囲気を出し
 た。また、目たぶやほおに
 は、うす紅色のほかしを入れ
 た。

患者の付き添いで訪れた女
 性は「五月月も入院している
 と、いらいらすることもある。
 やさしい表情の美人画を
 見ると、気持ちがあらう」と
 感想を話した。